

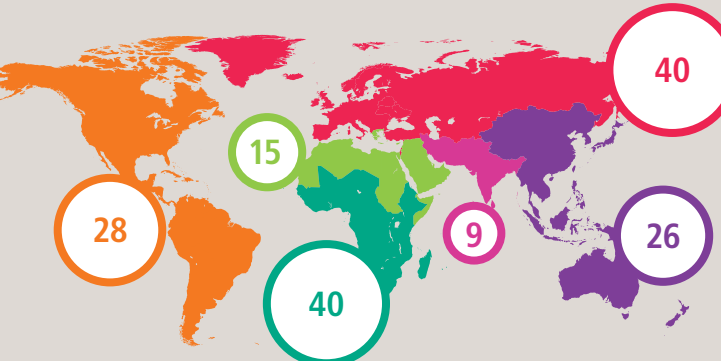
活動一覧

国際家族計画連盟 (IPPF)
2014年の主要実績

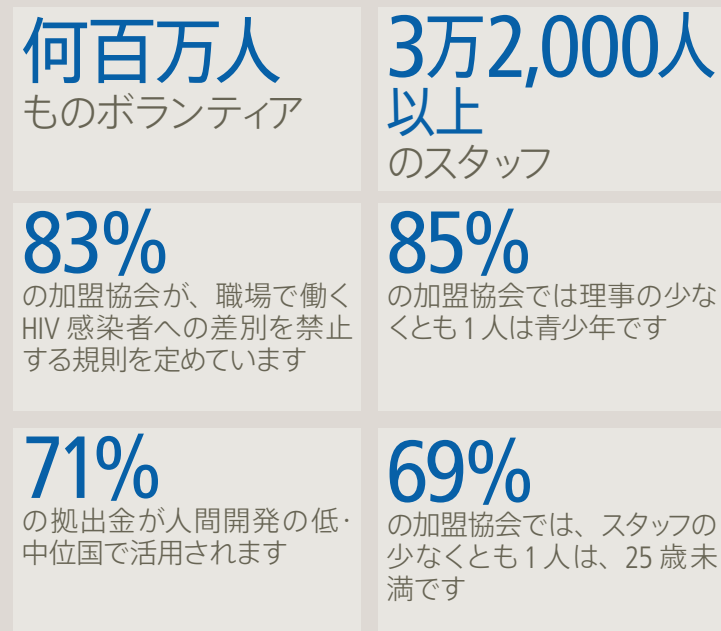


IPPFとは？

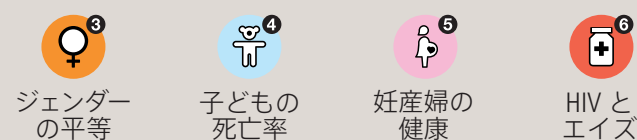
IPPFは、地球規模でのサービス提供と、世界のすべての人々のセクシュアル／リプロダクティブ・ヘルス／ライツの主要な政策提言を行っています。私たちはコミュニティと個人のために、コミュニティと個人と共に活動する国レベルの組織が繰り広げる世界的運動です。



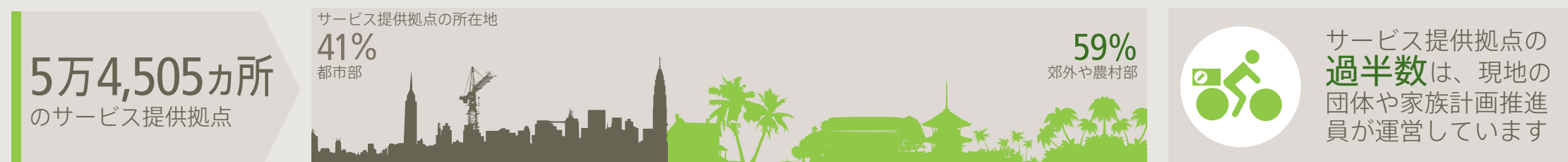
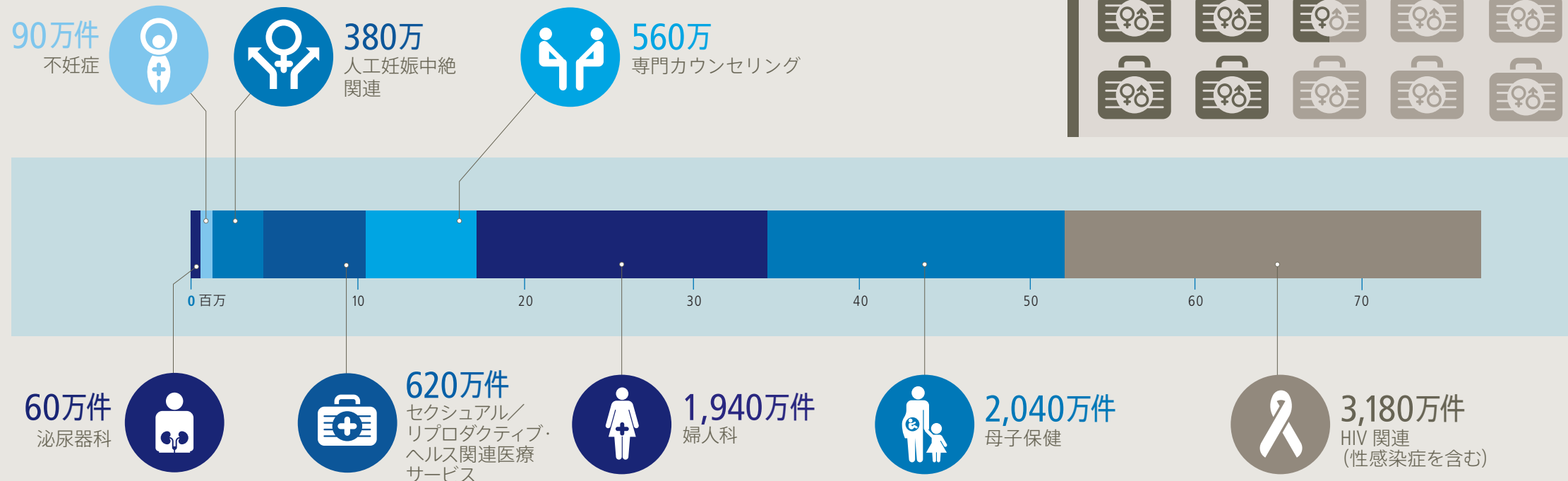
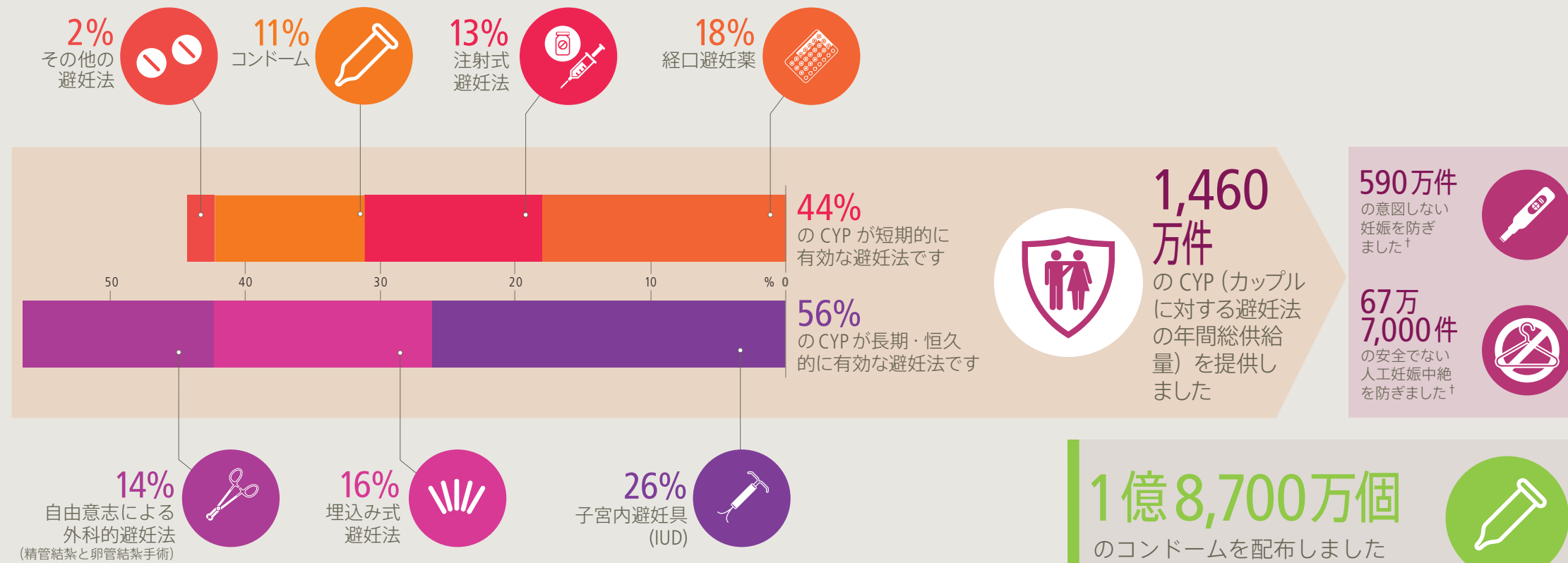
158 の加盟団体及び
連携パートナー団体



IPPFの活動は、4つのMDGsの達成に貢献しています



サービス提供活動の成果*



* 本資料では数値を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合や、絶対数を正確に反映していない場合がある。
† 意図しない妊娠と安全でない人工妊娠中絶の防止数は、マリー・ストーブス・インターナショナルの「インパクト2モデル」を用いて算出した。



#idecide



I decide... my future

2014年5月に開始したIPPFのグローバル・キャンペーン *I Decide* を通して各国の指導者たちにセクシュアル／リプロダクティブ・ヘルス／ライツを支持するように呼びかけました。誰もが自分の身体、人生を誰と共に歩むか、家族の人数を自分で決めて世界にすることです。*I Decide* キャンペーンにより、人々は、女性と少女が自分の未来を決められれば、より持続可能な開発が実現できることに気づきました。

IPPFは世界中で集めた人々の声や課題を、国際、地域、国家のレベルで提示し、あらゆるレベルの政策責任者と交渉し、セクシュアル／リプロダクティブ・ヘルス／ライツを国連が新たに設定する持続可能な開発目標 (SDGs) の中心にするように働きかけしています。

www.ippf.org/idecide



IPPFとその加盟協会の活動支援のための募金にご協力いただける場合は、IPPFのホームページ www.ippf.org/jp/ からお願いします。または、IPPF本部 (英国ロンドン) までご連絡をいただきますようお願いいたします。

2015年8月 国際家族計画連盟 (IPPF) 発行

4 Newhams Row London SE1 3UZ United Kingdom	電話 +44 (0)20 7939 8200 ファックス +44 (0)20 7939 8300	ホームページ www.ippf.org 電子メール info@ippf.org
--	---	---

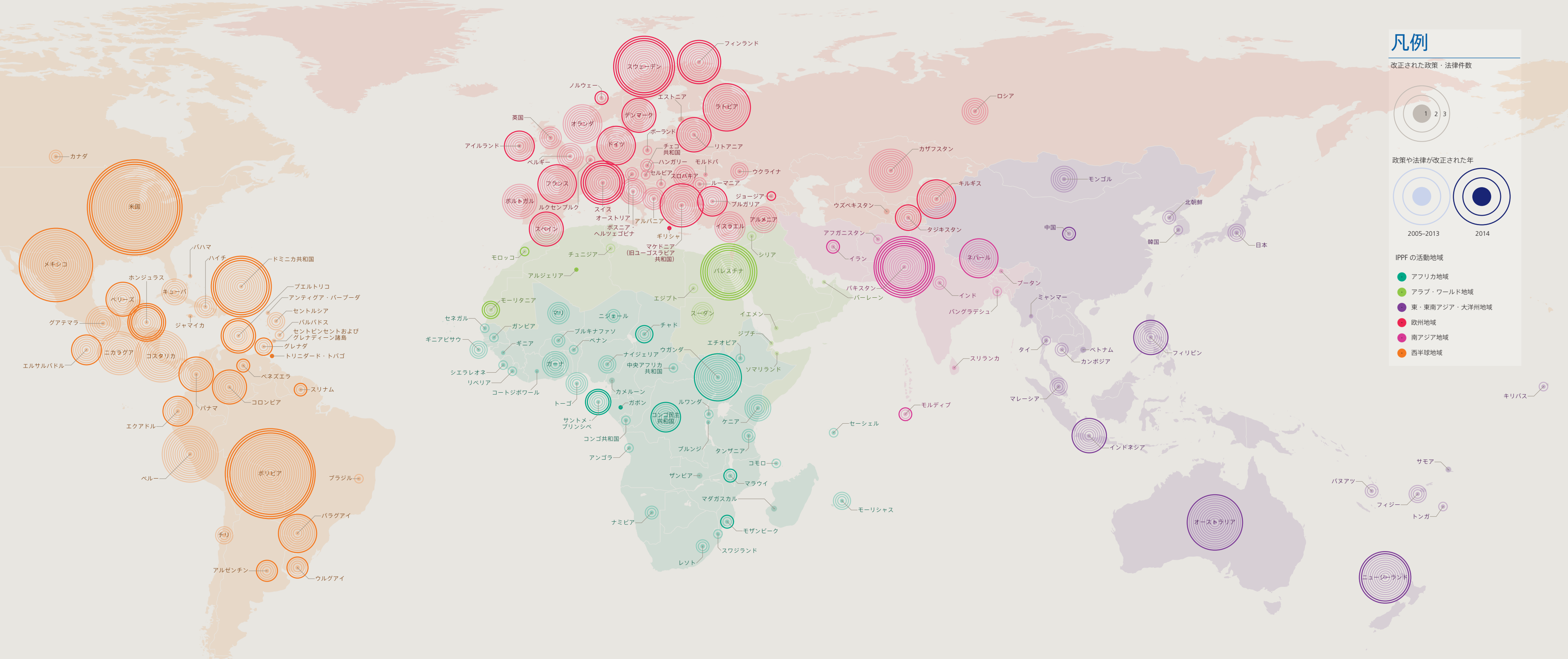
政策提言

国別実績 2005–14 年

IPPF の政策提言活動によって、より多くの人々がサービスを受けられるようになり、セクシュアル・ライツとジェンダーの平等を促進し、社会的汚名や差別を減らすことにつながる環境づくりをしています。加盟協会は、セクシュアル／リプロダクティブ・ヘルス／ライツを促進するよう政策や法律の改正を働きかけ、改悪に反対することによって世界の何百万人もの人々の生活に大きな違いを生み出しています。

2005 年から 2014 年までの間に、加盟協会やパートナー団体が協力して、セクシュアル／リプロダクティブ・ヘルス／ライツを守るため、**734** の政策や法律の改正を

150カ国
で実現しました。



凡例

改正された政策・法律件数

政策や法律が改正された年

2005-2013 2014

IPPF の活動地域

- アフリカ地域
- アラブ・ワールド地域
- 東・東南アジア・大洋州地域
- 欧州地域
- 南アジア地域
- 西半球地域

IPPF ベネズエラ (PLAFAM)  ベネズエラ政府は、HIV やエイズと共に生きる人々とその家族に対する差別を禁止する法律を採択しました。ベネズエラの加盟協会はテクニカル・アドバイザーとして政府に助言し、ソーシャルメディアや報道機関を通じて新法の普及を広く支援しました。	IPPF ホンジュラス (ASHONPLAFA)  ホンジュラスの加盟協会は、思春期の妊娠を防ぐためにマルチセクターで取り組む国家実施計画の策定に参画しました。また、セクシュアリティや意図しない妊娠を防ぐための、性教育を含む、若い子どもたちのための包括的な発育計画に寄与しました。	IPPF モザンビーク (AMODEFA)  モザンビークの加盟協会を含むリプロダクティブ・ヘルスの作業部会は、中絶に対する罰則の例外規定の修正を可能にしました。安全な中絶が妊産婦死亡率の低減や公衆衛生にとってどれほど重要かが、作業部会の議論から浮き彫りになったからです。	IPPF マラウイ (FPAM)  マラウイの加盟協会は政府高官を案内し、避妊薬（具）の在庫切れによる悪影響を受けた農村部の女性たちの実態を視察しました。その結果、家族計画に対する国家予算規模が2倍以上に増えました。加盟協会は、今では、中央政府の機関から直接仕入れができるようになり、農村部のクリニックでの在庫切れが減りました。	IPPF パレスチナ (PFPFA)  「国家ジェンダー平等戦略 (National Gender Equity Strategy 2014–2016)」が承認され、首相によって採択されました。パレスチナの加盟協会は、政府委員会に根拠や提案を提出して同戦略の策定に貢献し、採択までのプロセスの間も、フィードバックを提供しました。	IPPF リトアニア (FPSHA)  リトアニアでは、一定の中絶禁止期間を設け、女性の中絶を受ける権利への制限を強める法律案の成立を防ぎました。リトアニアの加盟協会は、大々的なキャンペーンを行い、さまざまな関係者に働きかけるとともに、政策提言のためのネットワークの一部として承認された市民社会組織は、政府からの資金を受けて HIV 関連サービスを実施できるようになりました。	IPPF マケドニア (HERA)  マケドニアの加盟協会は、HIV 感染を減らすための鍵を握る人口グループの保健サービスニーズを満たすために、市民社会組織が担っている大きな役割を、政府により理解してもらうことを目的としたネットワークを組織しました。その結果、そのネットワークの一部として承認された市民社会組織は、政府からの資金を受けて HIV 関連サービスを実施できるようになりました。	IPPF モルディブ (SHE)  モルディブ政府は、レイプと近親姦による妊娠については、人工妊娠中絶を認めるようになりました。モルディブの加盟協会はステークホルダーと戦略的な協力関係を構築し、レイプと近親姦の被害者の実体験調査を実施しました。調査結果は、法律にこれらを例外とする規定を追加することの重要性を政府に対してはっきりと示す、重要な根拠になりました。	IPPF フィリピン (FPPOP)  フィリピンの最高裁判所の一時的な差止命令により、施行予定だったリプロダクティブ・ヘルス法や関連する家族計画プログラムの多くが実施できなくなりました。フィリピンの加盟協会は、2012 年からこの差止命令をなくすべく奮闘してきました。その結果、今では、法律が施行され家族計画プログラムが再開されています。	IPPF インドネシア (IPPA)  インドネシアの加盟協会は、パートナー団体と協力し、医療従事者による女性性器切除 (FGM) を可能としてしまう抜け道になりにかねない法規制を撤廃することに成功しました。その後、インドネシア保健省が新しい法規制をつくり、医療従事者による FGM は一切禁止されました。
--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

政策提言

テーマ別実績 (2014 年)

加盟協会とパートナー団体が協力して、セクシュアル／リプロダクティブ・ヘルス／ライツを守るため

81 の政策や法律の改正を

55 の国
で実現しました。

19



安全で合法的な人工妊娠中絶

16



避妊薬（具）へのアクセス

11



セクシュアル／リプロダクティブ・ライツの推進

11



ジェンダーに基づく暴力の予防

10



青少年への教育とサービス

06



避妊薬（具）などセクシュアル／リプロダクティブ・ヘルスへの国家予算配分

05



社会的弱者向けのセクシュアル／リプロダクティブ・ヘルス／ライツ

03



HIV と共に生きる人々への支援